

# 再評価結果票

## はつねほいくえん

### 1 再評価実施日

令和元年11月8日

### 2 評価実施者

北九州市（北九州市児童福祉施設等第三者評価委員会）

### 3 再評価結果（※評価結果・・・平成27年10月16日 通常評価実施）

◎（1） 全体的な計画（保育課程）	
評価結果	保育課程は、基本方針に基づき、保護者の意向や地域の実態を反映して作成されていますが、園の独自性を具体的に記載することが望まれていました。
再評価結果	園の保育の独自性として、地域の年長者と一緒に公園を清掃する「ごみゼロ清掃」や異年齢児保育を計画に取り入れていました。

◎（2） 指導計画	
評価結果	指導計画については、年間計画と月間計画の整合性を図ることが望まれていました。3歳未満児の個別指導計画は、一人一人に作成されていますが、家庭との連携を踏まえた計画をすることが望まれていました。
再評価結果	指導計画については、年間・月間計画の整合性が図られていました。3歳未満児については、家庭との連携を踏まえた個別の指導計画が作成されていました。

◎ (12) 人間関係 (子どもの受容)	
評価結果	子どもの発達に合わせ適切に援助する姿やおだやかに話す保育士の姿がみられましたが、園全体として、子どもの気持ちに寄り添って保育する取組が望まれていました。
再評価結果	子どもの気持ちに寄り添って保育する取組として、人権擁護のためのチェックリストを活用して各自が自己評価を行っていました。保育士は温かな言葉づかいで受容的に対応していました。

◎ (14) 遊びの環境	
評価結果	玩具や遊具の利用の仕方、種類や量を見直し、子どもが自由に取り出せる環境の工夫をすること、あわせて、パーテーションなどを利用した遊びのコーナーを設置することや、自由に選べる時間が確保されることが望まれていました。
再評価結果	子どもの発達に即した玩具や遊具が用意され、好きなものを選んで遊べるように工夫されていました。また、遊びのコーナーが設けられて自由に遊べる時間が確保されていました。

◎ (38) 安全・衛生管理	
評価結果	食中毒に関するマニュアルを整備するとともに、園としての独自のリスクを把握し、そのための対策を講じておくことが望まれていました。
再評価結果	食中毒対応マニュアルは、食中毒予防・発生時の対応・関連機関との連携・二次感染の拡大防止等が盛り込まれ整備されていました。 園独自のリスクである川の氾濫を含め、様々な状況を想定した避難訓練が実施され、安全確保のための体制が整備されていました。